

旧静岡南高校の改修工事の最新状況

事務局



エントランスホール



コミュニケーションホール



展示室



標本室

会報 44 号で報告したとおり、現在、旧静岡南高校では、県立自然系博物館『ふじのくに地球環境史ミュージアム』開館におけて、改修工事が行われています。事務局では 5 月 20 日に、ミュージアム整備課荒武さんの案内で、改修工事の状況を見学させていただきました。ここでは、見学時の改修工事の状況を報告いたします。

改修工事は、現在、1 階から 3 階にかけての内装工事が行われています。工事は、予想以上に進み、各部屋や廊下の塗装作業などが行われています。

来館者利用域では、入口のエントランスホール、展示ホールの床や壁の工事が行われ、エレベーターはすでに設置され、動かせることが可能な状態です。その他の展示室については、空調や照明レール、部屋の仕切りなどの工事がほとんど終了し、現在は塗装工事を中心に行われているようです。また、図書室や視聴覚室、実習室については、床の補修やサンダー掛けの作業を行っていました。また、2 階のコミュニケーションホールは、窓を大きなガラスに張り直し、そこからの眺めは、素晴らしい景観になっています。

各研究室は、空調が設置され、床のフックスガけも終了した状態で、ほぼ完成していました。

各標本室は、研究室同様に空調が設置され、一部の標本室で、床の工事が行われていました。これから、窓の遮蔽・扉の設置が行われ、その後、標本棚が設置されれば、ほぼ完成です。地質標本室には、すでに環境史資料（ボーリングコア）用の、標本室の半分ほどの巨大な冷蔵室が設置されていました。また、解剖室の壁や床の工事も行われていました。

今のところ、改修工事は予定どおり進み、このまま順調に工事が進めば、6 月中旬頃には、内装工事の終了が見込まれるとのこと。その後プールを解体し、駐車場の設営が行われる予定です。また、新たに購入する標本棚等は 7 月中に、ほぼ設置が完了することです。その後 7 月後半に、1 週間ほどで、自然学習資料センターの標本等の引越を行い、8 月から旧静岡南高校にて標本保存事業を継続します。そして平成 27 年度には、『ふじのくに地球環境史ミュージアム』として一部開館する予定です。